

コミュニティ・アカデミー上幟

「広島」の歴史と文化」セミナー

第1講 築庭400年「縮景園」の歴史と文化

講師／観光アシスタントひろしま副会長 入川 実

講座の趣旨

私たち「観光アシスタントひろしま」は、広島を心から愛する人たちが自主的に運営しているボランティア団体です。平成14年に発足し、会員は約90名で、年間約1万人のお客様をご案内しています。

このたび、上幟町にコミュニティ・アカデミー上幟が発足し、講座「広島の歴史と文化」(座長 田邊良平)の最初の講義の一つで「縮景園」が取り上げられ、私たちの会に講義の依頼がありました。「縮景園」は約400年前に築庭された大名庭園として有名であり、広島といえば縮景園、上幟といえば縮景園というほど、私たちの心の故郷になっています。

この講義では、庭園様式の移り変わりと大名庭園、築庭時の様子とその後の大改修による変容、築庭者「上田宗箇」の人となり、「縮景園」のみどころとヒント、観光客の感想などをお話ししたいと思います。

講義の進め方

講義はレジメに基づき、スライドも使って説明したいと思います。
司会は郷土史家の田邊良平氏です。

講師紹介

入川 実(いりかわ みのる)

1947年、広島県竹原市生まれ。電機メーカーにて営業を担当。61才にて退職をしたのを機に、「観光ボランティア」になり、主として「縮景園」を担当してきました。そのほか、現在の住まいである、安佐北区落合地区で「日本のことばについて」、「親子農業体験塾」など、熟年及び子どもを対象とした講座などの、ボランティア活動をしています。

参照 <http://www.marukoshi.jp/talk/3-8-8/>

教室案内

開講日／平成27年11月11日(水曜日)

時間／18:30~20:00

場所／広島市中区上幟町10-15-201(島田ビル2階)

人数／椅子机で30人、
多数の場合は椅子席で50人まで

受講料／500円(当日お願い致します)



申し込み方法は裏面をご覧ください